

平成19年度事業実績の概要

センタープロジェクト名：事例研究研修プロジェクト

本プロジェクトは、①実践・教育・研究の統合の鍵となるケース・カンファレンスとスーパービジョンに関する研修事業の企画・運営・評価を行うこと、②大学と地域との連携を目指した研修事業のあり方に関する研究を行うこと、という目的を有している。

初年度の活動としては、研究員会議の開催、メーリングリスト等（事例研究研修プロジェクト通信 第1号～17号）での議論を深め、まずは研修事業として、ケース・カンファレンス連続講座の企画と実施（19年3月8日 岩間伸之講師 理論編）、スーパーバイザー養成講座の企画と実施（19年3月14・15日 福山和女講師他2名 パート1）をとり行った。また、研究者を始め、保健・医療・福祉のさまざまな現場の実践者から構成される研究員及びアドバイザーによるプロジェクトのメンバー構成を活用し、19年2月16日と2月18日に2回にわたる座談会を実施し、大学と現場（地域）との真の連携を目指した研修事業のあり方についてブレインストーミングを行った。この座談会においては、事前に研究員会議で議論して生み出した実践・教育・研究の統合の鍵となる4つの概念（「専門職倫理」「記録」「事例研究に関する方法論」「大学と地域の連携」）について、現場の立場、教育の立場、福祉の立場、医療・看護の立場等さまざまな角度から議論が行われた。

平成20年度事業の計画概要

今年度の活動としては、研修事業計画としては以下のとおりである。ケース・カンファレンス連続講座においては、20年5月31日に岩間講師 実践編を、同年7月19日に植田寿之講師 理論編を、同年9月16日に植田講師 実践編を開催予定としている。また、スーパーバイザー養成講座のパート2においては、20年9月22・23日に福山講師他2名で開催予定としている。そしてケース・カンファレンス連続講座の締めくくりとして、20年12月・21年2月の2回にわたり、渡部律子講師による講座を計画之中である。これらの連続講座を通じて、事業3年目に実施予定である定例カンファレンス事業の開催に向け、各プロジェクトメンバーがカンファレンスの司会者（ファシリテーター）としての力を養うことも目的としている。

また、研修事業のあり方に関する研究計画としては、1) 研究員とアドバイザーによる合同座談会を3回開催し、大学と地域との連携を目指した研修事業のあり方についてフォーカスグループインタビューを実施、さらに、2) その内容については定性データ分析を行い、「大学における定例カンファレンス開催の定着化」に向けての諸要素の抽出に取り組む。また、3) 20年9月発行予定のGP関連のニューズレターにおいては、当プロジェクトの特集として、座談会のダイジェスト、および各メンバーの関わるさまざまな施設・機関における研修事業のレポートを掲載する予定である。